

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	14	事業名	巡回バス運行事業	担当部課	くらし文化部安心安全課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	決算書ページ	—	
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進	会計区分	一般会計	
	法定受託事務の有無	無	予算区分(款-項-目)	2-1-12 巡回バス運営費	
	その他(関係計画、要綱等)	無	2-1-12 巡回バス運営費		
	事業開始の背景、経緯等	平成9年の住民意識調査において、住民ニーズの最も高い項目として「公共交通機関の整備や利用」が挙げられるなど、公共交通の整備・充実が多くの市民の要望であることがわかった。このため、当時、先進自治体でその活用が模索され始めた“巡回バス”や“コミュニティバス”に着目し、新たな市民の足づくりに向けた検討を始めた。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可	(両者と協働不可の場合はその理由)			

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市内循環バス「N-バス」として、小型バス5台を運用し、8ルート、42便/日、年間361日の運行を行う。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 巡回バス利用者
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) ・市内交通空白地帯の解消 ・公共施設の利便性の向上 ・子育て支援 ・高齢者や子ども等交通弱者の社会参加の促進

コスト推移	項目	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
	事業費(A)	千円	予算	118,454	121,916	129,938	109,701	129,381
			決算	114,816	120,004	128,133	123,632	
人件費(B)	千円	決算	5,564	5,271	2,884	2,546		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	120,380	125,275	131,017	126,178		
事業対象の数(D) (R4年度は想定数)	千人		261	225	153	138	138	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		461	489	625	776		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)
	N-バス乗車人数	千人	目標	265	261	225	153	138
			実績	261	225	153	138	
(指標の設定根拠)				(数値目標の根拠)				
N-バス事業として、乗車人数の向上を目指しているため				前年度乗車人数と、同数値程度を目標とした。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)								
(前年までの指標)								

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 新型コロナウイルス感染症の影響もあり、乗車人数が大きく減少した。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和3年4月1日にルート再編を行った。また、令和4年4月1日に料金体系の見直しを行う。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 乗降調査等により、ルート再編後の状況確認を行う必要がある。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	巡回バス運行事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1)	有料乗車率	%	見込	25	26	27	28	29
					実績	26			
	(2)	N-バス乗車人数	人	見込	153,000	138,000	139,300	140,600	142,000
					実績	138,000			
	(3)			見込					
					実績				
	<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	改善・見直しに向けて検討を行い、利用者へアンケート等を行い、意見把握に努めた。
	令和3年4月1日にルート及びダイヤ再編を行った。また、令和4年4月1日料金体系の見直しに向けて検討を行い、利用者へアンケート等を行い、意見把握に努めた。								

事業を構成する事務事業②	事務事業②	巡回バス運行事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
					実績				
	(2)	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
					実績				
	(3)			見込					
					実績				
	<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

事業を構成する事務事業③	事務事業③	巡回バス運行事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)		単位	区分	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	R7年度(2025)
	(1)	市民参加の延べ人数	人	見込					
					実績				
	(2)	【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込					
					実績				
	(3)			見込					
					実績				
	<備考:活動の概要(R3年度(2021))>							今後の方向性	

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 乗降調査等を通じ、利用者の動向やニーズ把握に努めていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 令和3年4月のルート再編及び令和4年4月1日料金体系の見直しに伴う状況の把握を令和4年度から進め、次回再編の準備を行っていく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・N-バス路線見直し後の評価をもとに、公共交通全体で今後の適切なサービス水準を検討し、一般財源の抑制が図られるよう検討してください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなで作るまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。 ・料金体系の見直しを含む再編や他の公共交通との連携について、地域公共交通施策全体を考慮し、引き続き取り組んでください。 ・成果指標について、乗車人数の向上を目指すならば、単に前年度乗車人数と同数値を目標にするのではなく、乗車人数の向上の根拠をもって指標値を設定してください。
	内部意見への回答	